

大人のための 歯科講座

「歯科治療の新潮流」

＝ 20 ＝

前回ご紹介したCAD/CAMによる補綴物の作成から引き続き、皆さんにとって身近な治療であるクラウニングなどの補綴物について述べたいと思います。

歯科では保険診療と自費診療があります。が、クラウン（俗に「さし歯」ともいう）の材料を決める際に必ずどちらか選択しなければなりません。イメージしやすいように前歯を例に話を進めます。前歯で外からみえる部分はどちらにおいても白い材料が用いられますが、保険で

私達歯科医師も治療をする立場として、できるだけきれいで体にも優しいセラミックスを提供したいと考えています。決してお金儲けしたいから自費を勧めているわけではありません。ここで料金の話をしましょう。保険の料金は全国一律です。どこで受けても同じです。

前歯のクラウンは保険で3割負担の方であれば6000円前後です。しかしセラミックスはだいたい7万円から、高いところまで幅円というところまで幅があります。自費の料金は各医院が自由に設定できるため、違いがでてくるのですが、都市部か郊外かなどでだいたいこの相場があり

ルーセントデンタル
クリニック院長
後藤 英夫



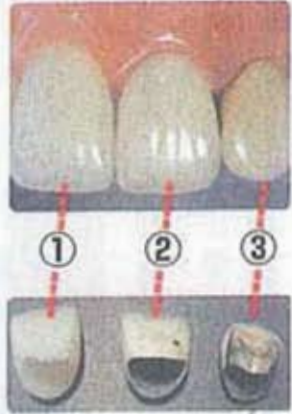
＜略歴＞ 1998年、東京医科歯科大学歯学部卒業。名古屋大学医学部遺伝子再生医療センター医員、国立長寿医療センター歯科口腔外科勤務などを経て、2008年からルーセントデンタルクリニック副院長。2011年から院長。

「かぶせもの」の種類と値段

はレジン、自費ではセラミックス（陶材）が用いられます。レジンは以前に比べると良くなっています。やはり天然歯らしい自然な透明感や質感を表現するのは困難です。それなりの審美性は得られますが、セラミックスには残念ながら遠く及びません。また時間の経過とともに変色したり艶を失ってしまったり、その点でもセラミックスに劣ります。生体親和性や歯垢の付きにくさ

保険と自費材料に違い 料金各医院が自由設定

- ①オールセラミッククラウン(自費)
メタルを全く使わないオールセラミックスで最も審美的。歯肉付近も暗くならない。
- ②メタルポンドクラウン(自費)
表面はセラミックスだが内面がメタルのため少し暗い印象を与える。歯肉付近も暗くなりやすい。
- ③レジン前装冠(保険)
保険のレジン前装冠。表面の透明感や質感に難点があり、時間とともにツヤが落ちてくる。変色もしやすい。



す。今はインターネットの発達で、誰でも簡単に料金調べる事ができます。皆さんが受診されている歯科医院の地区の相場を調べてみて、そんなに料金がかかりたいわけばかりの信頼している先生にお任せするのはい

ルーセントデンタルクリニック 名古屋市中区牛島町6-1-名古屋ルーセントタワー3階、電話052・908・8555、UR 011-8555-0111
www.lucent-dent.com